



←「院長の玉手箱」は当院のライン公式アカウントにてお友達登録して下さった方のみ限定で読んでいただけるページとなっております
左記バーコードを読みこんでください♡

発行元
西村クリニック
四條畷市楠公 1-14-6
072-862-3001

NHKテレビの大河ドラマ、今年は第六二回で「どうする家康」という物語が始まっております。私がNHKの大河ドラマを見始めたのは確か小学生の頃、第三回の「太閤記」の途中からだと言いつけております。その時の秀吉役が緒形拳さんで翌年の「源義経」では武蔵坊弁慶役をやっておられたのを覚えております。その後特に記憶に残っている大河ドラマには石坂浩二さん主演で上杉謙信と武田信玄の川中島の合戦を描いた「天と地と」。江戸時代伊達藩のお家騒動の話で従来は悪者とされていた原田甲斐にスポットを当てた「樅の木は残った」。戦国最強軍団の武田家の軍師山本勘助を描いた「風林火山」。最近では余り人気が出なかったようですが箱根駅伝の創始者金栗四三さんの物語「いだてん」。そして昨年の「鎌倉殿の十三人」もなかなか面白く、毎週楽しみに見ておりました。

大河ドラマでは色んな時代の人物像が描かれますが、やはり一番人気は戦国物でしょうか。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三人及び彼らを取りまく色んな人物が入れ替わり立ち代わり登場し、いつ見ても飽きない所が日本人好みに合っているのでしょうか。信長、秀吉、家康の三種三様の性格を表したこんな川柳があります。信長は「鳴かぬなら殺してしまえホトトギス」。秀吉は「鳴かぬなら鳴かしてみせようホトトギス」。家康は「鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス」。なかなか的を得た面白い川柳だと思います。

豊臣家は大阪夏の陣で滅亡しましたが、織田家は信長の死後も存続し、信長が存命中幸若舞が得意であったのを受け継いだ訳ではないですが、織田家の末裔である織田信成さんがフィギュアスケートで活躍し、つい最近も選手として現役復帰しております。また徳川家は今年になって徳川家



広さんが宗家の十九代当主として跡を継いだというのも話題になっております。さて秀吉の出世物語即ち、ぞうり取りから天下を取った豊臣秀吉の話は誰もが好きな所ですが、今年は何故徳川家康なのでしょう。幼少の頃から今川家の人質となって苦勞し「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし」といった言葉や「不自由を

常と思えば不足なし」といった言葉に代表される様に幼い頃から苦勞し、忍の一字で大成していった家康であるがゆえ、今のコロナ渦で不自由で耐える生活をしいられてきた人々に明るい未来を届ける為に今年の家康の話が選ばれたのではないかと思うのは私の考えすぎでありましょうか。



院長 西村 章

“きしめん”も食べてきました
ビール付のほろ酔いセットです♪



特定健診はお済みですか？3月末までです(^_^)-☆

編集後記

我が家にもやっと春がきました
長い長い暗いトンネルをやっと抜け
嬉し涙の毎日です♡

プラセンタ注射が品切れとなっております。みなさまにはご心配ご迷惑をおかけしております。再入荷の日程は決まっておりますが再入荷の際に当院から連絡をご希望される方は看護師までお伝えください。また代替品として当院では医療機関限定販売のサラブラッド(馬)プラセンタのカプセルとリキッド、豚(国産のみ)プラセンタのリキッドも取り扱っております。これらの商品も現在は在庫がありますが品薄となっております。サンプルのご用意も数に限りがあります。また購入される方は看護師、受付までお申しつけください。またメルスモン化粧品(医療機関限定販売品)のお問合せに男性の方も増えております。プラセンタの化粧品は男性の方にも積極的に使っていただける商品です。10年先に必ず差がでます (#^_^#)